

令和5年度 学校評価アンケート結果



保護者の皆様には、アンケートへご協力いただきましてありがとうございました。

アンケートの結果がまとまりましたので、お知らせいたします。皆様から寄せられた声を参考にしながら、よりよい学校づくりに努めて参ります。今後とも保護者の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

令和5年12月 稲田学園 校長 星 彰

保護者アンケート

調査月：令和5年12月

アンケート回収率：141/176（81.0%）

児童・生徒（5～9年）アンケート

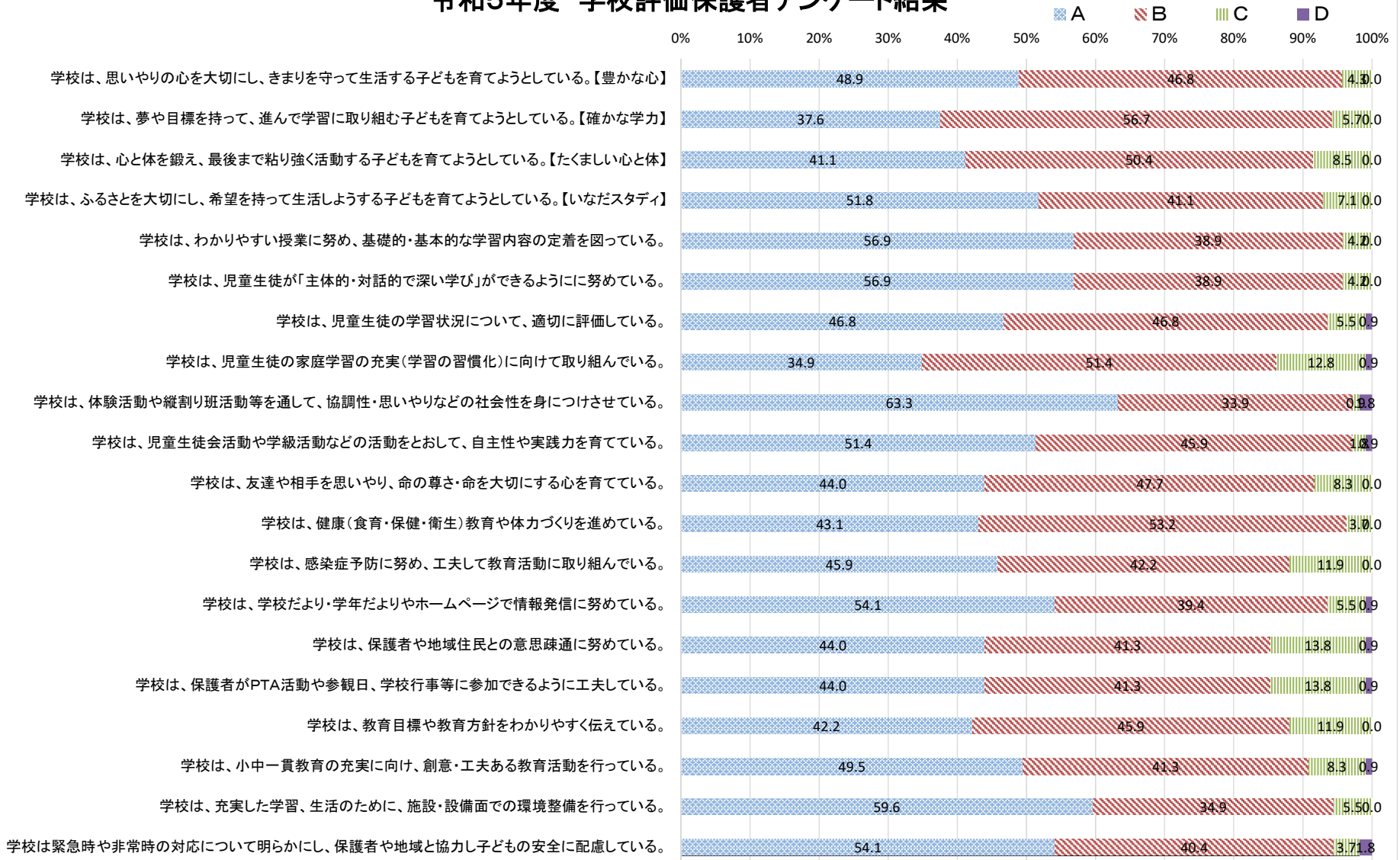
調査月：令和5年12月

教職員アンケート

調査月：令和5年12月

須賀川市立義務教育学校 稲田学園

令和5年度 学校評価保護者アンケート結果



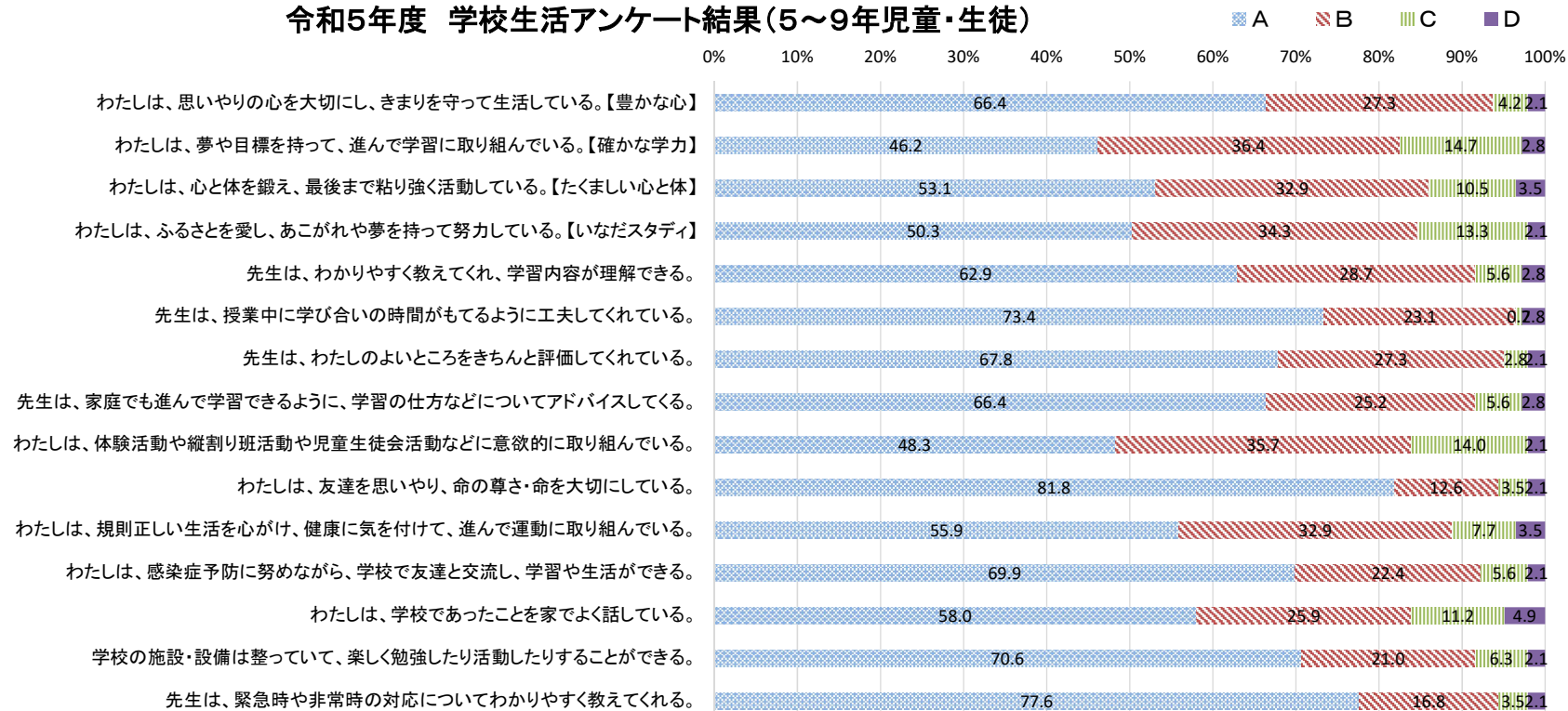
令和5年度 学校評価教職員アンケート結果

■ A ■ B ■ C ■ D

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



令和5年度 学校生活アンケート結果(5～9年児童・生徒)



<考 察>

保護者アンケートで、A（よくあてはまる）・B（あてはまる）と回答した家庭が90%を超えている項目は20項目中15項目であった。90%に届かなかったのは「家庭学習の充実」「感染症予防と教育活動」「保護者や地域住民との意思疎通」「PTA活動、参観日、学校行事」「教育目標や教育方針の伝え方」の5項目であった。全体的には肯定的に評価していただいているが、保護者・地域との協力に関する項目が5項目中3項目（「感染症予防と教育活動」「保護者や地域住民との意思疎通」「PTA活動、参観日、学校行事」）で90%に満たなかったことは反省すべき点である。コロナ感染症が大分落ち着いてきてはいるが、インフルエンザの流行等から、引き続き予防対策と教育活動の工夫が求められている。「家庭学習の充実」についても、学校と家庭の協力がなくては解決しない課題である。学校での学習状況を家庭に伝える機会を計画的に持つとともに、家庭での学習の進め方を家庭と学校とで話し合える関係づくりを進めることで、家庭学習の充実に繋げたい。

教職員アンケートで、A（よくあてはまる）・B（あてはまる）と回答した教職員が90%を超えている項目は20項目中19項目であった。教職員は、学校の教育目標から目指す教育像を明確にし、目標を定めて教育活動にあたっていると考えられる。一方で稲田のふるさとを愛し、夢をもって努力するキャリア教育活動の充実には、引き続きこれまで以上に保護者や地域の皆様と協力しながら進めていくことが求められる。

5～9年生対象のアンケートで、A（よくあてはまる）・B（あてはまる）と回答した児童生徒が90%を超えている項目は15項目中9項目であった。最も低い項目は、「進んで学習に取り組む」の83%である。評価が高い項目は「学び合いの時間の工夫」の97%、「先生はよいところを評価」の95%である。現在、授業と授業研究を大切に協同的な学びによる学校づくりを進めている。少しずつ、児童生徒同士が支え合う、学びの充実が成果となっている。さらに、児童生徒が主体的に学習に取り組んでいけるよう進めていきたい。

令和5年度学校評価アンケートに係る学校に対するご意見・ご希望

稲田学園

※ 原文のまま記載しています。また、「(略)」は前後一部を省略しています。

1 義務教育学校の特色を生かした教育活動について

- ・ いつも子どもたちのことを見守って安全な環境をありがとうございます。小中一貫校にあたり色々と家庭では経験できないことを経験させてもらえてとてもありがたいと思います。他の学校とは違う方向性があると思います。一貫校らしくこれからも先生たち一丸となって取り組んでいただければうれしく思います。保護者も協力して子どもたちのいい環境を作っていければと思いますので、これからもよろしくお願いします。
- ・ 先日のドライトマト販売では大変お世話になりました。学校や家とはまた違う一面が見られて、子どもたちにとっても貴重な体験だったと思います。
- ・ 少子化に伴い、子供たちの生活環境や活動環境が縮小していることに寂しさを感じますが、その中でもいろんな工夫があり、楽しい学校生活がおくれているように思います。今までのことに囚われず、何かもっと新たな稲田ブランドが発足し、もっと楽しい義務教育期間が過ごせたらと感じています。
- ・ 小中一貫でありながら、前期後期間で隔たりが感じられます。先生と生徒間の繋がりや信頼関係を引き継いで頂きたいです。また、通級や支援学級の負のイメージ払拭のためにも、支援を受けることのメリットやその後の進学への見通しなども積極的に発信して頂けると偏見や支援利用への躊躇が減少するのではと思われれます。また、今以上に個々と多様性への支援の在り方も充実することで、人々の理解の幅も拡大していくのではと考えられます。一貫だからこそできる継続した充実の支援を学校のうりにするべきではないでしょうか。

⇒ 小中一貫である特色を生かし、教職員の継続した指導や支援が充実するよう努めていきます。その中で、一人一人の特性に応じた指導や支援の実現をめざし、保護者の皆様と連携していきます。

2 教職員の対応、学校の雰囲気について

- ・ わたしの娘は担任の先生に恵まれていて、不満をもったことはありません。しかし、周りから聞いた話になってしまいますが、こどもに対して不適切な態度をとる担任の先生もいると聞いて、そんな先生が担当になったらと、不安になることがあります。
(略)

- ・ 特定少数の先生によって、他の先生方、しっかりと対応している先生方の評価を、落とさないほしい。先生方の言葉一つで、勇気づけられることもありますし、深く傷つきやすく大人になっても一生忘れられない思い出として残ります。言葉の暴力に気を付けて頂きたいです。子どもの芽をつぶさないように取り組んでほしいです。
- ・ 授業中に寝ている先生がいるようですが、何のために仕事をしているのでしょうか。教育委員会に話をだしてもおかしくない。
- ・ 先生方にはいつも声をかけていただき、本当にありがとうございます。お忙しいとは思いますが、これからもよろしくお願いします。
- ・ お便りやホームページで学校の様子が分かり、安心して通学させております。担任の先生だけでなく、学校全体の先生に見守っていただけていると思います。
- ・ いつもお世話になっております。引き続き、息子ともどもよろしくお願いします。また、朝早くから夜遅くまで毎日お疲れさまです。
- ・ 朝早くから夜遅くまで子どもたちのためにありがとうございます。

⇒ 教師の言動は、児童生徒にとって大きな影響を与えるということを自覚し、今後、教育活動を進めていくよう再確認します。

3 教育活動の充実について

【セキュリティ面】

- ・ 学校の出入り口が常に開放されていて、誰でも入ってこれてしまう状態なので、セキュリティ面が心配になりました。

⇒ 学校の東側の門は開けていますが、それ以外の門と児童生徒の昇降口は閉め、すぐに侵入できないようにしています。また、教職員で不審者対応訓練を実施し、児童生徒の安全を一番に考えた行動がとれるよう確認しています。

【指定上履き】

- ・ 小学校のうちは上履きのサイズが良く変わり買い換える頻度が多く大変なので、指定は7年以上にしてほしいです。

⇒ 指定上履きになっていますが、個別に相談に応じますので、ご連絡ください。

【秋華祭】

- ・ 学校祭など、前期課程の保護者も見にいけたらと思います。お便りも前期と後期に分けてほしい。どうしても前期の内容が薄い気がします。

⇒ 前期課程保護者の皆様の秋華祭参観は、検討しています。

学校便りは、児童生徒の活躍を多く掲載する紙面作りに努めていきます。

【感染症予防】

- ・ コロナの規制は無くなりましたが、感染症は他にもあります。その兆しがあった際には早めにマスク着用等のお知らせがあったらと思います。また、行事が連続していることが多かったので、2学期は子どもたちも忙しかったと思います。猛暑だったり急激な気温低下だったり、子どもも心配が多かったです。先生方にはいつもご配慮いただき、本当にありがとうございます。子供たちのことをいつも考えてくださり、私どもの話も聞いていただき、いつも感謝しております。

⇒ 保護者の皆様と連携した感染症予防を徹底していけるようにします。また、併せて日々の児童生徒の体調面や心理面の様子から心配な様子がありましたら、ご連絡ください。

【情報発信】

- ・ 先生方にはお忙しい中、学校だより、HPなどの情報発信ありがとうございます。部活動の成果や学校行事についての情報は、親子での会話の種になっていて、とてもありがたく思っています。子どもたちは頑張りを認めてもらえる事で、自信をつけてさらに伸びていくと思います。(略) 6年生が何かの作文で良い評価をいただいたと聞きました。(略) 頑張っている子どもたちの成果をもっと発信してもらえると嬉しいです。良い作文は、メディアセンター等にコピーを置いてあったりするのでしょうか。読んでみたいです。(略)
- ・ 悪天のさい、校内の駐車場使用を許可しますとメールがきますが、もう少し早く一斉メールをしてほしいです。
- ・ (略) 校内での感染症の流行状況や、大雨の際に校地内への保護者車両の乗り入れについて、細やかなメール配信助かります。

⇒ 入賞した作文等を展示することで、入賞者の自信につながったり、それを見た児童生徒の新たな表現力につながったりします。今後、展示する機会について検討していきます。

⇒ 保護者の皆様への一斉メールは、できる限り迅速に配信していきます。

【更衣室】

- ・ 新校舎には更衣室があるが、旧校舎には更衣室がないとのことなので、新設するべきではないでしょうか。

⇒ 生徒の発達段階や、生徒指導面での配慮事項を考えた上で、検討していきます。

【服装】

- ・ 冬期間、体調に応じて体操着の下に長袖Tシャツの着用が可能になるとありがたいです。(略)

⇒ 冬季(気温が低い日)に防寒着として、セーターやベスト、カーディガン等は、制服やジャージから出ないように着ることは認められています。

- ・ 衣替えの件ですが、6月、10月に数週間の準備期間を設けて頂いていて、子どもは学ランは脱いでもいい、寒いときは中にニットをきても良いと言われているとは聞いています。(略) 数年前より社会ではクールビズ、ウオームビズを推進しておりますし、SDGsの活動もあります。今の時代の気温でそもそも制服の衣替えが必要なのかとすら感じます。子どもたちがそれぞれの体調や体感気温に合わせてもいいのではと。(略)

⇒ 急激な気温の変化等を受けて、衣替えの時期を柔軟に設定し、各自の判断で制服を選択する等の対応をしています。

※ アンケートに無記名で回答された場合には、ここに記載しておりませんが、内容は教員間で確認しております。